

## 当日の主な質疑応答

### 1. 事業全体について

・2年前の協議会で一方通行化の方法を含めて多くの方が賛同をした。一刻も早く事業を進めてほしい。

・できる限り早く工事を進め、皆さんの期待にお応えしたい。

### 2. 一方通行化について

・第3工区はなぜ一方通行化しないのか。  
・全線一方通行化で良いのではないのか。

・第1工区は特に歩行者が多い区間。第3工区は歩行者が他工区に比べて少ないことに加え、周辺に自動車を使う住宅、商店が多いことから、相互通行を残すこととした。

### 3. 安全対策について

・ガードレールを整備しないのか。

・現状と同じように、ポラード（ポール状の車止め）を設置する。

・チェーンをまたぎ、斜め横断する歩行者が見られる。対策は何か考えているのか。

・植栽帯を設けるので、横断はしづらくなる。警視庁とも調整を行う。

・立教通りの山手通り側に高木を植えるとなると、カーブ部分で見通しが悪くなるのが想定される。対応は何か考えているのか。

・間隔をあけた配置など、高木が見通しの妨げにならないよう検討する。

### 4. 脇道対策について

・アゼリア通りから立教通りへの抜け道を自動車のナビゲーションが誘導し、交通量が増加するのではないのか。

・交通量が増加するとは想定していないが、今後も状況を把握して対応する。

・脇道を立教通り整備事業の工事車両が通行するのではないのか。

・立教通り整備事業の工事車両が脇道を通行しないよう、施工業者を指導する。

### 5. 植栽について

・ソメイヨシノを植えることはできないか。

・植栽の種類等は今後検討する。

### 6. 道路舗装について

・現状、歩道舗装が凸凹しており、歩きにくく、ベビーカーや車いすも通行しにくい。整備後には凸凹はなくなるのか。

・歩道はレンガを予定している。歩きやすいように工夫する。

## 立教通り整備に関するお問い合わせは、下記の事務局にお寄せください

立教通り整備推進協議会 事務局 豊島区 都市整備部 道路整備課 道路設計グループ  
 【担当】加瀬・茂木(もてき)・小俣(おまた)  
 【電話】03-3981-4879 【メール】A0023309@city.toshima.lg.jp  
 【ホームページ】<https://www.city.toshima.lg.jp/330/rikyo/1908161028.html>  
 ※右に掲載のQRコードからもアクセスが可能です。



# 西池袋まちづくりニュース

令和4年6月発行

No.11

立教通り整備推進協議会 事務局

## 立教通り整備事業説明会を開催しました

令和4年4月14日(木)IKE・Biz としま産業振興プラザにて、立教通り整備事業説明会を開催し、約40名の方にご参加いただきました。これまでの経緯、事業内容、スケジュールについて事務局より説明の後、質疑応答が行われました。当日の概要をお知らせいたします。



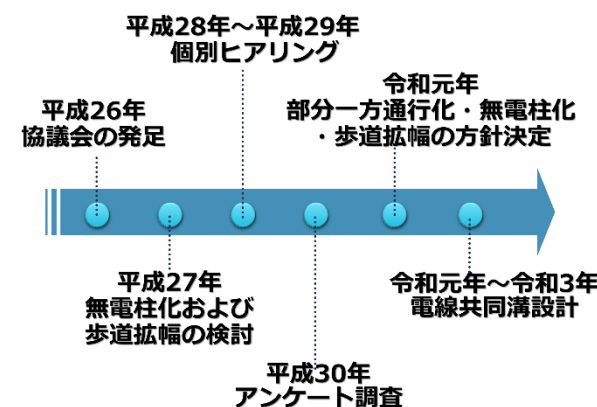
### 1. 区長あいさつ（要旨）

- ・立教通り整備事業は、平成26年から、協議会8回、幹事会7回、アンケート調査等を行ないながら検討してきました。
- ・区は、車優先から、歩いて楽しい、人優先のウォーカブルなまちづくり（※）を目指しています。
- ・立教通りは、今後のまちづくりの重要な役割を担う路線です。整備によって池袋全体が良くなるものと考えています。

※ウォーカブルなまちづくり：多様な人々が集い、交流する「居心地が良く歩きたくなる」まちづくり  
 出展：国土交通省令和4年4月1日報道発表資料

### 2. これまでの経緯

立教通り整備事業は、平成26年に沿道の方々を中心とした協議会を発足し、長い期間をかけて検討を行ってきました。



### 3. 平成30年度アンケート結果

立教通り周辺にお住まいの方々に、アンケート調査を実施しました。  
 (※配布枚数：6,101枚 回答数：799枚 回答率：約13%)

#### Q. 無電柱化を進めるべきか？

→ 約90%の方が賛成

#### Q. 歩道の拡幅を進めるべきか？

→ 約86%の方が賛成

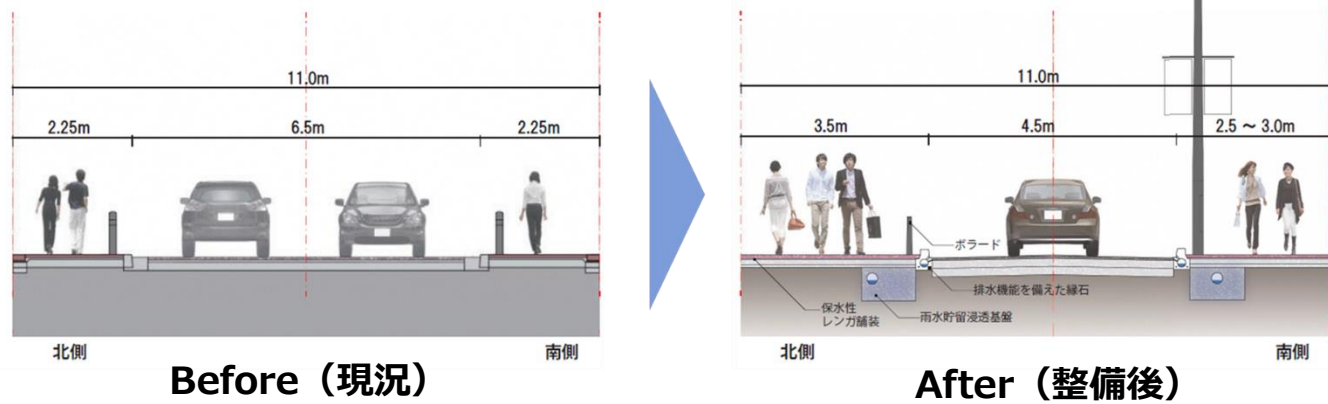
#### Q. 一方通行化の方法は？

→ 部分一方通行化（※2ページ以降参照）に賛成が最多（約57%）

# 立教通り整備事業内容～一方通行化・環境モデル路線整備・スケジュール～

## 1. 一方通行化及び断面構成の変更

- 一方通行化を行う箇所は、車道を縮小し、歩道を拡幅します。
- 車道幅員：約 6.5m ⇒ 約 4.5m
- 歩道幅員：約 2.25m ⇒ 約 2.5m～3.5m



## 2. 環境モデル路線整備



- グリーンインフラ(※)を導入します。
- 土に浸透した水は、道路面にしみ上がり、蒸発することで周辺の気温を下げます。
- 根の育成を助ける土を使用して、植物からの蒸散作用を促します。

出展：一般社団法人グリーンインフラ総研

※グリーンインフラ：都市に発生する問題（ヒートアイランド現象・ゲリラ豪雨など）を自然の力を活用して少しでも軽減しようとする、持続可能な社会を推進するための取り組み

## 3. 一方通行化

- 一方通行区間は、第1工区から第2工区にかけて順次延長します。

- 第1工区の一方通行開始（右図赤色区間）  
→ 令和5年9月頃
- 第2工区まで一方通行区間を延長（右図青色区間）  
→ 令和9年以降開始
- 第3工区（右図緑色区間）  
→ 相互通行を継続

## 4. 地上機器設置予定箇所

- 第1工区の地上機器設置箇所は、右図の●の箇所を予定しています。
- 第2工区、第3工区の地上機器設置箇所は検討中です。



## 5. 脇道対策

交通量調査を実施し、立教通りの整備にあわせて、脇道の安全対策も検討します。



対策例：イメージ狭さく

対策例：カラー舗装

## 6. 整備スケジュール

### ●全体スケジュール

	年度	令和4	令和5	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	令和11	令和12
第1工区		→								
第2工区				→						
第3工区							→			

### ●第1工区詳細スケジュール

	令和4年度				令和5年度				令和6年度				令和7年度				
	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	
無電柱化			→														
道路工事															→		
説明会																	
★																	

令和5年度9月頃から一方通行開始予定